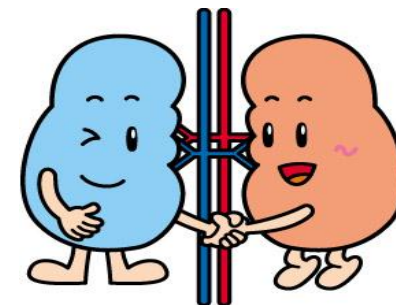


プチ検査 腎臓が気になる方へ



腎臓の病気は自覚症状が現れにくく、現れたときにはかなり進行していることが多いのです。そのため、定期的に検査することがとても重要です。

腎機能に障害があると、多くの蛋白が尿中に漏れて、蛋白尿となります。

	基準値	要注意	異常
尿蛋白	(-)	(1+)	(2+)以上
尿潜血			

尿潜血が陽性の場合、尿路の炎症や結石、腫瘍などが疑われます。

	基準値		注意～異常
血清クレアチニン (mg/dl)	男性	0.6~1.1	1.2以上
	女性	0.4~0.8	0.9以上
eGFR (ml/分/1.73m ²)	60以上		60未満

血清クレアチニンは老廃物の一種で、腎臓の機能が低下すると、排泄できなくなります。値が高いと腎臓病などが疑われます。



eGFRは腎臓がどれくらい老廃物を尿へ排泄する能力があるかを示す値です。この値が低いほど腎臓の働きが悪いということになります。

※尿蛋白が陽性または、eGFRが60mL/分/1.73m²未満が3ヶ月以上継続する場合は、慢性腎不全の疑いがあります。